

腹膜透析 (PD) から血液透析 (HD) への移行期の患者指導

(医) 衆和会 桜町病院 桜町クリニック 桜町クリニック時津
○岩本まゆみ 久保純子 小松利恵子 白井美千代 丸山祐子 橋口純一郎
船越 哲 原田孝司

【背景】

PD 患者の半数以上が HD に移行する際拒否的であり、この移行時期の患者指導は、スムーズな HD の受け入れのために非常に重用である。

【目的】

HD 移行受け入れ向上のための指導方法を検討する。

【対象・方法】

過去 5 年以内に HD に移行した外来透析患者 16 名につき、良好群と不良群の傾向を調査し、また KDQOL-SF にて QOL を測定したと。

【結果】

年齢の中央値は 55 才 (24-84 才) ・男性 9 名/女性 7 名 ・有職率 66%であった。HD 受け入れの良好群 6 名 ・不良群 10 名ともに、HD への移行により平均 QOL スコアは上昇しており、両群間に差は見られなかったが、良好群で「息切れや倦怠感の軽減」、「皮膚色が白くなった」などのプラス経験が得られたのに比べ、不良群ではこれらがなかった。

【考察】

PD 効率の低下により HD 移行に至る過程では、尿毒素物質の増加や貧血などを伴うことが多いと考えられ、HD による身体症状の改善を強調することが患者指導のポイントの一つと思われた。